

みずほCustomer Desk Report 2024/03/21号 (As of 2024/03/20)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.01	1.0862	164.16	1.2718	0.6525
SYD-NY High	151.82	1.0923	165.33	1.2787	0.6587
SYD-NY Low	150.74	1.0837	163.92	1.2685	0.6513
NY 5:00 PM	151.25	1.0923	165.21	1.2787	0.6587

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	39,512.13	401.37	日本2年債	-
NASDAQ	16,369.41	202.62	日本10年債	-
S&P	5,224.62	46.11	米国2年債	4.6023% ▲0.0840%
日経平均	-	-	米国5年債	4.2460% ▲0.0522%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.2758% ▲0.0157%
ソコ日経先物	40,385.00	500.00	独10年債	2.4335% ▲0.0160%
ロンドンFT	7,737.38	▲0.92	英10年債	4.0150% ▲0.0425%
DAX	18,015.13	27.64	豪10年債	4.0850% ▲0.0620%
ハンセン指数	16,543.07	13.59	USDJPY 1M Vol	7.36% 0.18%
上海総合	3,079.69	16.93	USDJPY 3M Vol	8.00% 0.26%
NY金	2,161.00	1.30	USDJPY 6M Vol	8.19% 0.26%
WTI	81.27	▲1.46	USDJPY 1M 25RR	▲0.55% Yen Call Over
CRB指数	285.52	▲1.34	EURJPY 3M Vol	7.42% 0.31%
ドルインデックス	103.84	0.25	EURJPY 6M Vol	7.84% 0.29%

アジア	アジア時間は東京休日にて閑散としたマーケット。19日に日銀がマイナス金利の解除やYCCの撤廃等を発表したものの、引き続き緩和的な政策を維持することを表明したことで強まった円売り圧力は本日も続行。151.01レベルでオープンしたドル円は特段もみ合う事もなく上昇し続け151.55レベルで欧州時間へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.55レベルでオープン。午後にFOMCを控える中、米10年債利回りの上昇を背景に小幅ながら底堅く推移し、結局、151.70レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2722レベルでオープン。英2月CPIが予想を下回り、じりじりと1.2688まで下落。結局、1.2694レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台後半でスタート。東京市場が休場の中、前日に発表された日銀による金融緩和環境が継続される事が意識され、円売りの流れが続く。151.70レベルでNYオープン。午前中はFOMCの結果待ちから、151.70付近を挟んだ狭い推移が続く。午後に発表された注目の3月FOMCは政策金利を現状の5.25%-5.50%に据え置く事を発表し、同時に発表された金利・経済見通しでは去年12月時点と同様に年内3回の利下げ予想が示された。その後に行われたパウエル議長の記者会見では、「現状の政策金利はピークにある公算」、「今年中に緩和を始めるのが適切になるだろう」等とハ派寄りの発言が伝わると、売りが優勢となり、一時150.74まで急落。その後も特段サプライズ発言は見当たらなかった。終盤は売り一巡となり、徐々に値を戻し、151.25レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。ラガルドECB総裁の早期利下げを思わせる発言が伝わると、ユーロ売りが優勢となり、1.0843レベルでNYオープン。午前中は米金利が低下する動きを背景に、1.0860近辺まで戻す。午後は先述のハ派寄りのFOMCの結果を受け、米金利が一段と低下する展開が支えとなり、1.0923まで上伸し、そのままクローズ。

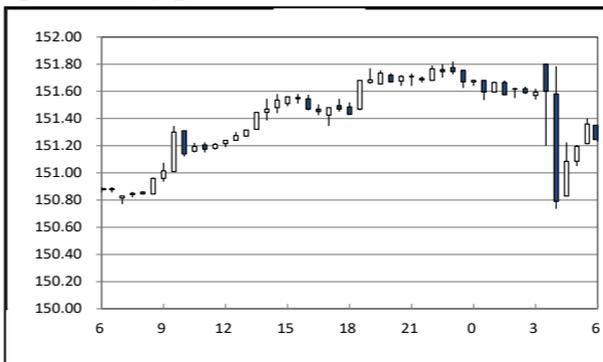
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月20日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.4%/-4.1%	-0.1%/-3.8%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	2月 0.6%/3.4%	0.7%/3.5%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	2月 4.5%	4.6%
3月21日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	3月 -14.9	-15.0
	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	20-Mar 5.50%	5.50%
	03:00	米 FOMC政策金利(下限)	20-Mar 5.25%	5.25%
	03:30	米 パウエルFRB議長 講演	「今年中に緩和を始めるのが適切になるだろう」	

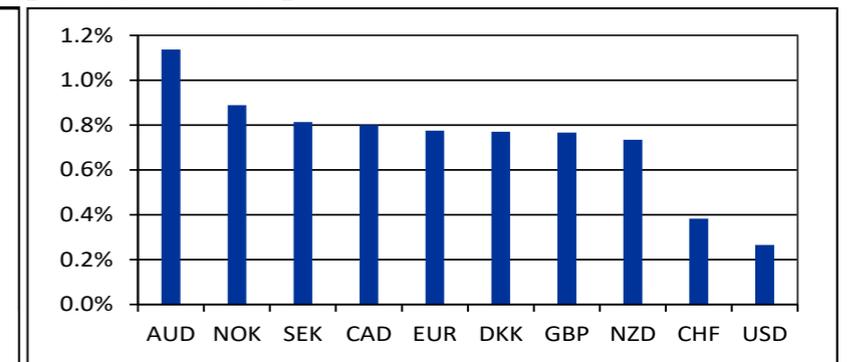
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月21日	08:50	日 貿易収支	2月 -¥785.0b	-¥1760.3b
	09:30	豪 失業率	2月 4.0%	4.1%
	17:30	独 製造業PMI・速報	3月 43.0	42.5
	17:30	独 サービス業PMI・速報	3月 48.8	48.3
	18:00	欧 製造業PMI・速報	3月 47.0	46.5
	18:00	欧 サービス業PMI・速報	3月 50.5	50.2
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	3月 -2.5	5.2
	21:30	米 新規失業保険申請件数	16-Mar 213k	209k
	22:45	米 製造業PMI・速報	3月 51.8	52.2
	22:45	米 サービス業PMI・速報	3月 52.0	52.3
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 3.95m	4.00m
3月22日	01:00	米 バーFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.00-152.00	1.0880-1.0980	164.00-166.00

【マーケット・インプレッション】

19日、ドル円は日銀金融政策決定会合、植田日銀総裁の発言を受けて円売りが強まると、150円台後半まで上昇した。会合は事前に報道されていた通りの内容であったこと、総裁が今後の利上げを明確に否定したことで、一方的な円売りが再開した格好。20日、東京休日に加えFOMCを控えているにもかかわらず、タカFED警戒にドル円は一時151.82まで上値を伸ばした。ただ、注目のFOMCは警戒されていた程タカではなく、結局151円アラウンドでクローズ。本日のドル円は久々の151円レベルで売りも出やすく上値は抑えられそうであるが、下値は引き続き堅い流れだろう。3月FOMCでは一部懸念されていた2024年DOTS引き上げは回避されたものの、成長率、インフレ見通しは上方修正された。日本サイドは緩和スタンス継続ならば、ドル円は150円台が定着する流れとなりやすいか。ただ、足元米金利の上昇余地も限られていることから、月末の米インフレ指標までは152円を見据えた動きが継続すると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・南野